

2022年8月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社アスナロに「SDG s 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社アスナロ（代表取締役：叶 楽明）に「SDG s 推進融資」を実施いたしました。

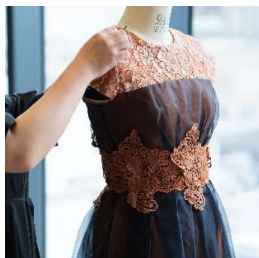
「SDG s 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社アスナロについては、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 長く着用できるデザイン・需要に応じた生産計画による衣料品の大量廃棄の抑制、従業員の働きがいの向上

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
目標 8 働きがいも 経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



一枚の服を長く大切に使用できるよう、企画・デザインを工夫。付加価値を付ける。



生地や付属品から縫製工程、着用イメージ、あらゆる面で服の大事さを強調。大量生産、大量廃棄を避ける。



化学物質が大量に放出されるクリーニングより、家庭での手洗いのほうが環境にやさしい。つくる責任だけでなく、つかう責任も果たす。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上